

横浜市と株式会社plan-A、横浜市芸術文化振興財団が 芸術不動産事業推進に関する連携協定を締結 公民連携により遊休不動産の創造的活用を推進します！

横浜市では、主に関内・関外地区を対象に、遊休不動産（空き物件のある不動産）を創造的に活用することで、アーティスト・クリエイターの集積やまちの活性化を進める「芸術不動産事業」（以下「本事業」）に取り組んでいます。

このたび、横浜市と株式会社plan-A（ヨコハマ芸術不動産推進機構 代表法人）及び公益財団法人横浜市芸術文化振興財団は、公民連携により本事業を推進することを目的として、連携協定を締結しました。



1 経緯

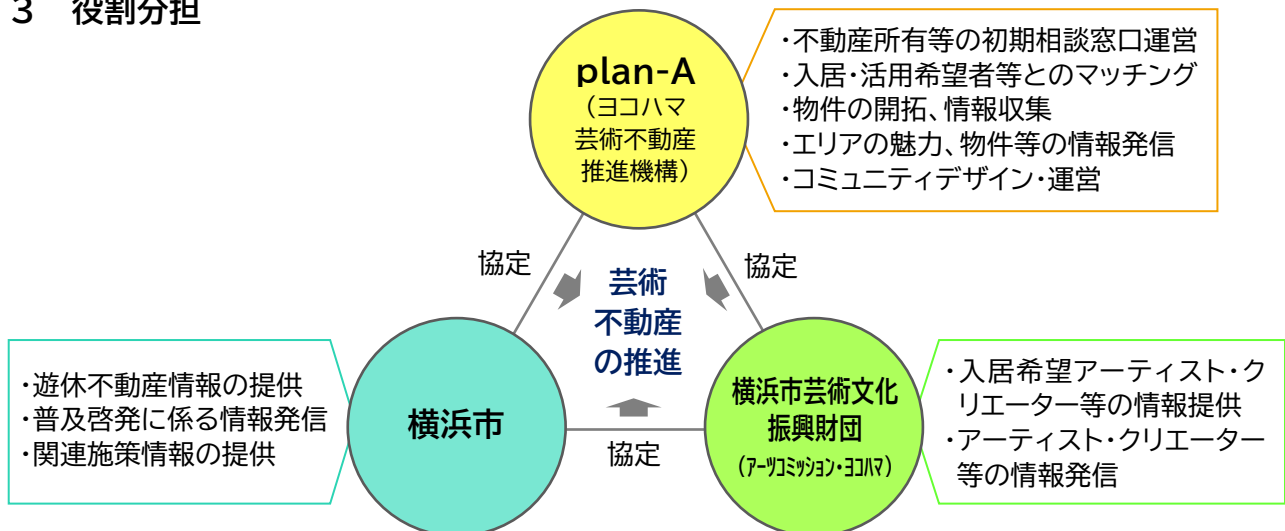
これまで、横浜市は、横浜市芸術文化振興財団（アーツコミッション・ヨコハマ）とともに本事業に取り組んできました。本事業をより効果的に進めるには、不動産や建築、ファイナンスなど専門的なノウハウが必要であることから、テーマ型共創フロントにより、本市と連携して推進していただける民間パートナーを募集しました。

その結果、複数の民間企業によるコンソーシアム「ヨコハマ芸術不動産推進機構」を組成した株式会社plan-Aから提案を受け、詳細について協議を進めた結果、今回の協定締結にいたりました。

2 連携内容

- (1) 主に関内・関外地区における遊休不動産の創造的活用の推進に関すること
- (2) 本事業推進に係る情報発信に関すること
- (3) その他本事業に派生する公共空間活用等、創造界隈の形成に資すること

3 役割分担



4 具体的な取組

(1) 不動産所有者等の初期相談窓口の開設

主に関内・関外地区に遊休不動産をお持ちの方を対象に、無料で、創造的な活用に向けた初期相談ができる窓口を「G Innovation Hub YOKOHAMA（中区尾上町3-35 横浜第一有楽ビル3F）」内に開設します。

(2) 不動産所有者とアーティスト・クリエイター等とのマッチング

遊休不動産の所有者と活用事業者や関内・関外地区への移転を希望するアーティスト・クリエイター等とをマッチングし、遊休不動産の創造的な活用とアーティスト・クリエイターの集積を推進します。

(3) 共同のウェブサイトによる情報発信

横浜市と株式会社plan-A（ヨコハマ芸術不動産推進機構）との共同で本事業のウェブサイトを立ち上げ、事業概要や活用事例、エリアの魅力、活用可能な物件等の情報を発信します。

参考

株式会社plan-Aについて

【会社概要】

設立年月 平成30年5月
所在地 横浜市青葉区青葉台1-11-1 ドルフ青葉台3-304
代表取締役 相澤 毅
URL <https://plan-a-02.co.jp/>



【事業内容】

プロジェクトマネジメントや場のプロデュース、地方自治体とのまちづくり事業などを業務領域とし、市内では、オフィスビルをシェアオフィス・コワーキングスペースにリノベーションした「G Innovation Hub YOKOHAMA」のプロデュース・運営や、ベンチャー企業成長支援事業の拠点「YOXO BOX」の立ち上げや運営などを手掛ける。

ヨコハマ芸術不動産推進機構について

【組織概要】

設立年月 令和3年9月
代表法人 株式会社plan-A

【メンバー】（令和3年10月末現在、50音順）

株式会社オンデザインパートナーズ、株式会社櫻井計画工房、株式会社佐々木設計事務所、株式会社スタジオアハレ、株式会社スタジオゲンクマガイ、株式会社ピクニックルーム、株式会社plan-A、株式会社みかんぐみ、YADOKARI株式会社、株式会社山手総合計画研究所、リスト株式会社、株式会社ルーヴィス

お問い合わせ先

文化観光局創造都市推進課創造まちづくり担当課長 長谷部 千晶 Tel 045-671-4241